

忠別湖から旭岳頂上へ——

SEA TO SUMMIT®

DAISETSU ASAHIDAKE 2014



KAYAK 5km



BIKE 15km



HIKE 2km

主催／大雪 旭岳 SEA TO SUMMIT 実行委員会（事務局／ひがしかわ観光協会）

後援／東川町、環境省北海道地方環境事務所、観光庁

オフィシャルウェブサイト <http://www.seatosummit.jp>

※「SEA TO SUMMIT / シー トゥー サミット」は株式会社モンペルの登録商標です。

 観光庁
Japan Tourism Agency

SEA TO SUMMIT®



※大雪 旭岳 SEA TO SUMMIT 2013の様子

大雪旭岳 SEA TO SUMMIT 会長挨拶文

SEA TO SUMMIT
連絡協議会 会長モンベル
グループ代表 辰野 勇

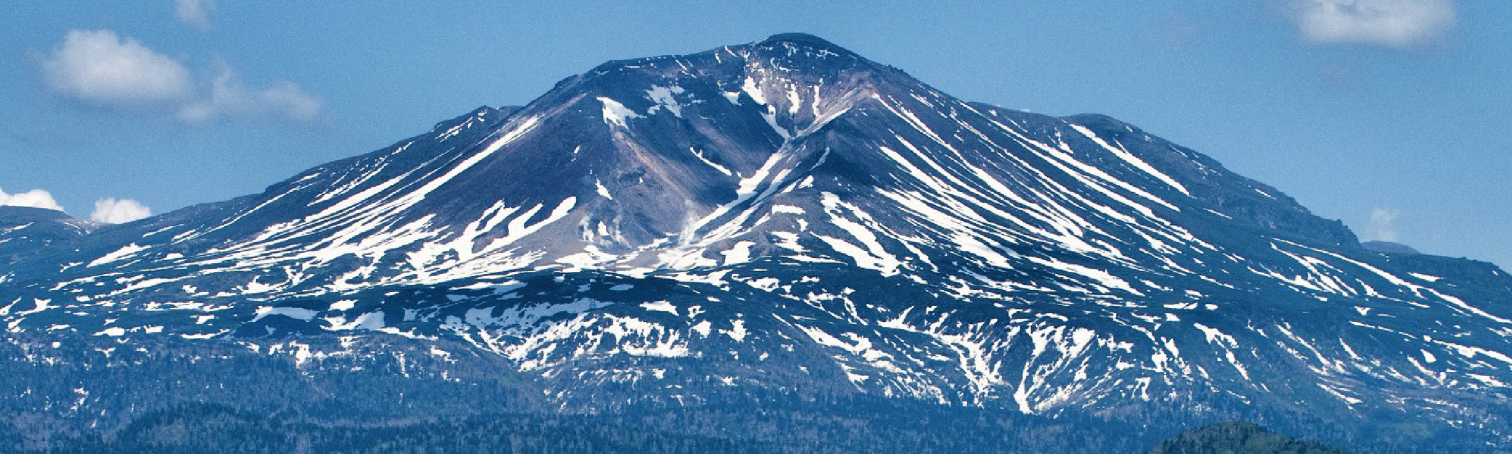
「大雪 旭岳シートゥーサミット」も回を重ねて第4回目を開催する運びとなりました。

北海道最高峰・大雪旭岳の素晴らしい自然を舞台に、アウトドア愛好者が今年も集まります。澄み渡る忠別湖を起点として、タイムを競うことなく大自然の循環を感じながら、カヤック・自転車・登山と多岐に渡る種目で頂上を目指す大会が今年も繰り上げられます。

また、大雪山旭岳の山開きの儀式と登山者の無事と安全を祈願する「山の祭り」と本大会が同時に開催されます。たいまつ行列やアイヌの伝統儀式や舞踊が披露されるなど、炎と星空の明かりに照らされた幻想的な一夜をお楽しみください。地域の特色を活かした大会を開催することで、その土地の素晴らしさを再確認する「シートゥーサミット」の理念が更に発信されることと思います。

海・里・山——。

「シートゥーサミット」は人力だけで海から頂上を目指し、大自然を全身で感じながら汗をかき、人と自然のかかわり方の在るべき姿を改めて考える、そんな時間を皆さんと共有したいと思います。



忠別湖から望む大雪山旭岳

大雪 旭岳 SEA TO SUMMIT® 2014 大会に寄せて

「写真の町」東川町

「大雪 旭岳 SEA TO SUMMIT 2014」に全国各地からご参加いただいた皆様、ようこそ「写真の町」東川町へ。選手、ご家族、応援の皆様を心からご歓迎申し上げます。

また、本大会を本町で開催できますことに対し、関係者の皆様に心よりお礼申し上げます。

東川町は大雪山連峰を望む田園風景が広がる自然豊かな町であり、また、全国でも珍しく、大雪山の豊かな伏流水で生活する町でもあります。

大会の会場であります北海道最高峰の旭岳は、日本最大の自然公園「大雪山国立公園」内にあり、山頂付近は夏になると、多彩な高山植物のお花畑が広がり、ナキウサギ、ヒグマ、エゾシカなど、多様な動物も生息しています。また、忠別湖は、大雪山国立公園の入り口にあたり、大雪の雪解け水をたたえる湖です。旭岳を水面に映すその姿は非常に美しく、また神秘的で、訪れる多くの皆様からご好評を頂くなど、本町を代表する景勝地の一つです。

「SEA TO SUMMIT」は環境型スポーツイベントとして、カヤックで忠別湖を周り、自転車並びに登山で旭岳山頂を目指します。東川の美しい環境は、The scenic beauty is great for the outdoor activity and the photography. 風景の美しさは野外活動や写真に最適であります。そのなかで当地の豊かな自然、おいしい空気、そして大雪の恵みでもあります大雪山から流れ出る清らかな水を一身に感じていただければと願っております。

最後になりますが、選手の皆様は万全の体調の下、事故には十分注意されご健闘くださるとともに、大会に関係されます皆様のご健勝とご活躍をお祈りいたします。

北海道の初夏があなたを待っています！



実行委員長

一般社団法人
ひがしかわ観光協会 代表理事
浜辺 啓

大雪山国立公園指定80年の年に第4回の本大会が開催できますことに感謝申し上げます。

毎年皆さんに北海道の自然をどう楽しんでいただくかを考えています。

SEA TO SUMMITを通してその雄大さ！豪快さ！神秘さを表現できる企画は何か？

どんな企画をしても受け止める側は様々で、これは絶対という企画はない！それなら一層参加者の希望通りのプランニングを実行してみようかと考えています。これはSEA TO SUMMITの前後の話です。せっかく遠くからおいでいただくのですから写真の町「ひがしかわ」を満喫していただく方法論です。

そして、大雪旭岳SEA TO SUMMITの盛会方法論であります。

今年は「写真の町」宣言30年になるのを期に写真文化首都宣言をしました。全国の皆さんから応援をいただき小さな町でも頑張っているところをこの大会を通じて発信していきたいと考えています。今大会に参加される皆さんが雄大な自然を満喫し完走されることを祈念申し上げます。

開催要綱

- 主催** 大雪 旭岳SEA TO SUMMIT実行委員会(事務局:ひがしかわ観光協会)
- 後援** 東川町、環境省北海道地方環境事務所、観光庁
- 協賛** 株式会社モンベル、日本ゴア株式会社、大山ハム株式会社、株式会社オージーケーカブト、株式会社キャットアイ、アリスト販売株式会社、海快晴(株式会社サーフレジェンド)、日本ヒューレット・パッカード株式会社、オリンパスイメージング株式会社、北海道コカコーラボトリング株式会社、ワカサリゾート株式会社、株式会社トヨタレンタリース旭川、パーセプション、ゴールゼロ、キャメルバック、ジェットボイル、Sun Company、バイオライト、ラフウェア



大会期日 2014年 6月21日(土) 6月22日(日)

会場 6月21日 東川町公民館(開会式、環境シンポジウム、大会説明)
6月22日 忠別湖親水広場(スタート)、旭岳グランドホテル大雪(閉会式)
湖のステージ[カヤック]…忠別湖 親水広場 約5km
里のステージ[自転車]…忠別湖親水広場～旭岳ビジターセンター 約15km
山のステージ[ハイキング]…旭岳ロープウェイ姿見駅～旭岳頂上 約2km

定員 先着100組もしくは300名(募集組数に達し次第、受付を終了します)

参加費 シングルの部: ¥10,800(税込) / チームの部: ¥10,800×人数(税込) 環境保全協力金¥500を含む

参加資格 ●健康な方で、参加者全員分のカヤック装備(パドル/ライフジャケットを含む)、自転車装備(ヘルメットを含む)、水分補給のための給水用装備(ハイドレーション・システムなど)を用意できる方
●シングルの部:高校生以上の方、チームの部:中学生以上の方
●大会事務局より大会参加承認を受けた方
※病弱、心臓に障害のある方は参加できません。※高校生以下の参加には保護者の同意が必要です。※年齢は大会当日を基準とします。

日程	6月21日(土)	6月22日(日)
11:00～13:00	大会受付(東川町公民館)	5:00～ カヤック、自転車搬入(忠別湖 親水広場)
13:00～	開会式(東川町公民館)	6:30～ 参加者集合
13:30～	環境シンポジウム(東川町公民館)	7:00～ 大会スタート
15:00～	大会説明(東川町公民館)	14:00～ 閉会式・表彰式(旭グランドホテル大雪)
16:30～	安全祈願祭(旭岳ロープウェイ前広場) 山の祭/ヌブリコロカムイノミ(旭岳青少年野営場) ※ともに自由参加	※天候およびコースの状況により変更になる場合があります。

制限時間 カヤックスタート時間から、
3時間以内に旭岳ロープウェイ山麓駅(20km地点)
5時間以内に旭岳頂上



協賛団体(順不同)

mont-bell

株式会社モンベル

<http://www.montbell.jp/>

総合アウトドアメーカー。「Function is beauty」と「Light&Fast」をコンセプトに高機能登山用品とアウトドア用品全般の開発・製造・卸・販売を行っています。

GORE-TEX®
PRODUCTS

日本ゴア株式会社

<http://www.gore-tex.jp/>

身体を常にドライで快適に保つゴアテックス®プロダクト(製品)は世界中のアウトドア・シーンで、揺るぎない信頼と実績を確立しています。

大山ハム
DAISENHAM

大山ハム株式会社

<http://www.daisenham.co.jp/>

2011年ドイツ農業協会主催国際品質競技会7年連続金賞受賞の「カントリーロースト」を中心に、自然の恵みをいっぱい受けたハム・ソーセージ・ベーコンを食卓にお届けします。

Kabuto

株式会社オーケーカブト

<http://www.ogkkabuto.co.jp>

大自然への挑戦! 人力のみで走破していくSEA TO SUMMITは自分自身への挑戦でもあると思います。またチームで参加される方は仲間と助け合い1人では越えられない所も助け合い完走をめざして頑張ってください。



株式会社キャットアイ

<http://www.cateye.com/>

自転車用のリフレクターや、走行データ・心拍などを計測するサイクルコンピュータの他、LEDを照明に採用するなど自転車の進化に貢献している開発型製造メーカーです。



アリスト販売株式会社

<http://www.arist.co.jp/>

クエン酸サイクルに基づき開発された10年以上の実績を誇る、回復系飲料のロングセラー。1ℓで梅干し約12個分のクエン酸とアミノ酸、ビタミン、ミネラルなど40種類の成分を配合しています。



海快晴(株式会社サーフレジendent)

<http://pc.umikaisei.jp/>

京都大学防災研究所との共同研究により独自気象解析システムを開発し、企業や個人向けに高精細な情報を提供。また、「マリノウェザー海快晴」により安全で安心した海の環境づくりに貢献しています。



日本ヒューレット・パカード株式会社

<http://www8.hp.com/>

「日本ヒューレット・パカードはグローバルHPの一員として、日本のお客様に満足していただける製品とサービスを提供してまいります。

OLYMPUS

Your Vision, Our Future

オリンパスイメージング株式会社

<http://olympus-imaging.jp/>

オリンパスはSEA TO SUMMITに協賛させていただきます。私達は映像事業を通じて、お客様のさまざまな環境下(特に今回の大会のような厳しい環境下でも)「思い出」[夢]を創造し、より豊かな生活を提案させていただきます。

perception

パーセプション

<http://www.perceptionkayaks.com/>

アメリカのカヤックブランド。シットオンカヤック、フィッシングカヤック、ツーリングカヤックに至るまで最高の素材を使用し、より良いパフォーマンスを発揮する製品づくりにこだわっています。

GOAL ZERO
POWER ANYWHERE

ゴールゼロ

<http://www.goalzero.com/>

GOAL ZEROはアウトドアシーンで使える革新的なソーラーパワーシステム製品を提供するアメリカのメーカーです。

CAMELBAK

キャメルバック

<http://www.camelbak.com/>

20年近くにわたり、ハイドレーションシステム技術の最先端を担ってきたブランド。ハイドレーションシステムの世界NO.1ブランドとして広く知られています。



ジェットボイル

<http://www.jetboil.com/>

アメリカで数多くの賞をおさめた、保温クッカーと熱効率の高いストーブがセットになった簡単便利なアウトドア調理器具です。



Sun Company

<http://www.suncompany.net/>

アウトドアの中で役立つ斬新なアイデアを持った小物を、1971年から次々と世に送り出しているユニークなアクセサリメーカー。



バイオライト

<http://www.biotech.co.jp/>

ガスやガソリンなどの化石燃料を使わずとも強力に安定した火がで、さらに発電も可能という画期的なキャンピングストーブを開発、製造しています。

RUFFWEAR

ラフウェア

<http://www.ruffwear.com/>

犬と一緒にアウトドア・アクティビティを楽しむことを提案し、その実現のためのさまざまなギアを製造しています。

Coca-Cola

北海道コカ・コーラボトリング株式会社

<http://www.hokkaido.ccbc.co.jp/>

北海道の美しい自然を愛する企業市民として、この豊かな大地へ想いをつなぎ、さまざまな事業活動を展開しながら地域とともに一歩ずつ着実に歩んでまいります。

Asahidake
旭岳ロープウェイ

ワカサリゾート株式会社

<http://wakasaresort.com/asahidakeropeway/>

ようこそ北海道の最高峰リゾートへ。旭岳ロープウェイは標高1,100mから標高1,600mを結び、約10分間の空中散歩。旭岳の雄大な自然が一望できます。

TOYOTA
よいクルマよいサービス
トヨタレンタリース旭川

株式会社トヨタレンタリース旭川

<http://www.toyotarenta.com/>

お車に関するあらゆるニーズに、すぐれたトヨタ車とレンタカー・カーリースシステムで対応。もしもの時にも全国に広がるネットワークで安心にご利用いただけます。

協力団体

東川アウトドアセンター、
北海道アウトドアアドベンチャーズ、
ひがしかわ環境保全推進クラブ森林、
食と文化研究アシルメノコウタラ、
特定非営利活動法人日本ライフセービング協会北海道支部、
旭岳温泉グランドホテル大雪

実行委員会

東川町、東川町教育委員会、東川町体育協会、
東川町スポーツ推進委員協議会、
東川町農業協同組合、東川町商工会、
ひがしかわ観光協会、東川建設業協会、
大雪消防組合、忠別ダム水源地域ビジョン「遊ing忠別」、
東川町大雪山国立公園保護協会、
旭川山岳会、旭川サイクリング協会、
上川空知地区トライアスロン連合、
ワカサリゾート株式会社、
有限会社アグリテック、株式会社東川振興公社、
NPO法人ねおす、東川フォトクラブ、
カムイミントル倶楽部、
大雪と東川の自然を守る会、株式会社モンベル

6月22日 日

※天候およびコースの状況により変更になる場合があります。

大会コースとチェックポイントのご案内です。応援ポイントなどもご紹介しておりますので、是非、参考にしてください。

応援サポーターの方へ

路上駐車・自動車による自転車との並走は他の方のご迷惑となりますので遠慮ください。各応援ポイントの最寄りの駐車場 **P** をご利用ください。

43°65'15"N 142°79'84"E

旭岳ビジター
センター ☒ 

応援目安時間

8:30 - 10:30

43°65'28"N 142°79'81"E

旭岳ロープウェイ
山麓駅

応援目安時間

9:00 - 11:00



43°63'06"N 142°66'84"E

忠別湖 親水広場

(大会スタート地点)



応援目安時間

7:00 - 8:00

株式会社サーフジェンドのご協力により、イベント専用モバイルサイトがオープンいたします。サイト内では、大会の主要ポイントにおける気象情報について、天気はもちろん、風や波などの情報をわかりやすくご案内します。

また、『大雪 旭岳 SEA TO SUMMIT 2014』に関する最新情報を、このモバイルサイトより随時発信していきます。是非ご活用ください。



海をつたえる、笑顔をつくる。
海快晴
marine weather

旭岳ロープウェイ運行時刻
毎時00分、15分、30分、45分
(所要時間/片道10分)

43°66'21"N 142°82'51"E

旭岳ロープウェイ 姿見駅



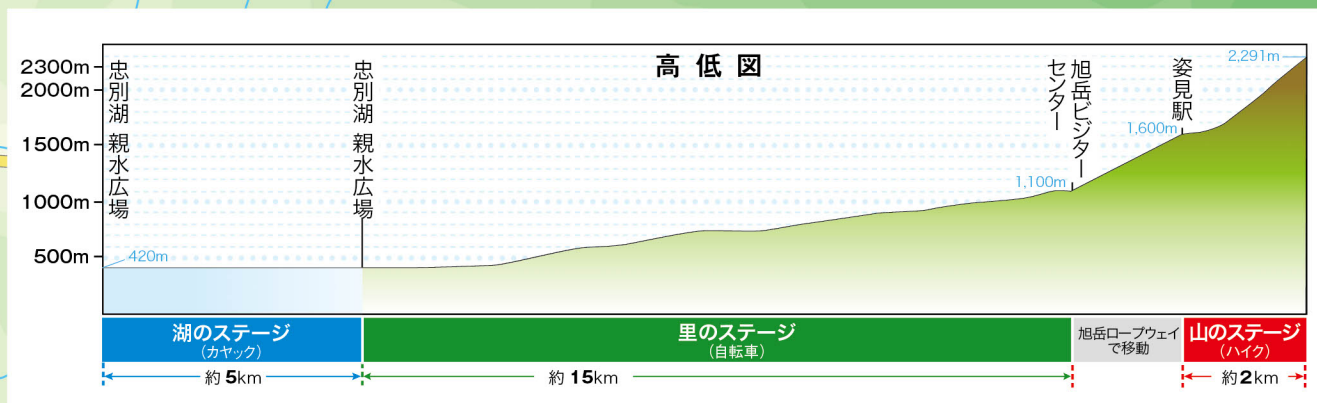
応援目安時間
9:00 - 11:00

43°66'35"N 142°85'41"E

旭岳頂上



応援目安時間
10:00 - 13:00



43°64'58"N 142°73'08"E

ガマ岩



応援目安時間
8:00 - 9:30

チェックポイント



エイドステーション



トイレ



応援ポイント



駐車場



環境シンポジウム

参加無料

6月21日 土

場所:東川町公民館

13:00～ 開会式(東川町公民館)

基調講演「共に生きる 未来に向けて」板東 元(旭山動物園 園長・獣医師)

14:00～ パネルディスカッション

【パネリスト】板東 元 (旭山動物園 園長・獣医師) 竹田津 実 (獣医師・写真家)



板東 元(ばんどう げん)

1961年北海道出身。ボルネオ保全トラストジャパン理事。1986年に獣医として旭山動物園(北海道・旭川市)に入園し、飼育展示係長、副園長を経て、2009年から現職。同園の名物である「ペンギん館」「もうじゅう館」「オランウータン舎」「ほっきょくぐま館」など、動物本来の能力や習性を見せる「行動展示」を考案し、同園再生のきっかけをつくった立役者。「動物たちに生き生きと過ごせる空間で生きてほしい」という思いと、「どうしたら人にゆったりと楽しんでもらえるか」という両方の視点をもって動物園づくりに取り組んでいる。



竹田津 実(たけたつ みのる)

1937年 大分県出身。2004年より東川町(北海道)に在住。獣医師として傷ついた野生動物の保護・治療・リハビリ作業を行いながらキタキツネの生態調査を続ける。写真家・エッセイストとしても活躍。「えぞ王国」(新潮社)、「オホーツクの十二月」(福音館書店)ほか著書多数。映画「子ぎつねヘレン」(2006)原作者。

【モデレーター】辰野 勇 (モンベルグループ代表)



辰野 勇

1947年 大阪府堺市生まれ。
1969年 アイガー北壁日本人第二登を果たす。
1975年 株式会社モンベルを設立。
2007年 代表取締役会長就任。
2011年 東日本大震災支援のため、「アウトドア義援隊」を指揮
2012年 「冒険塾」発足、塾長に就任

15:00～ 大会説明(東川町公民館)

会場案内・アクセス

◎ 大会受付、開会式、
環境シンポジウム

【会場】東川町公民館

- 道央自動車道・旭川北ICから道道37号線を経由し、道道1160号線を旭岳温泉方面へ約20km
- 旭川空港からタクシーで約15分



◎ 大会スタート地点

【会場】忠別湖親水広場

- 道央自動車道・旭川北ICから道道37号線を経由し、道道1160号線を旭岳温泉方面へ約38km
- 旭川空港からタクシーで約30分



◎ 表彰式・閉会式

【会場】

旭岳グランドホテル大雪
1Fレストラン「ラビン」

- 道央自動車道・旭川北ICから道道37号線を経由し、道道1160号線を旭岳温泉方面へ約53km
- 旭川空港からタクシーで約40分



【お問い合わせ】

SEA TO SUMMIT 連絡協議会 事務局 (株式会社モンベル 広報部内)
TEL 06(6531)5524 FAX 06(6531)5536 〒550-0013 大阪市西区新町2-2-2

オフィシャルウェブサイト

<http://www.seatosummit.jp>